

川崎市が進める地域包括ケアシステム

川崎市が進める地域包括ケアシステムとは

子どもから高齢者までの**全ての地域住民を対象に**、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、「医療・介護・予防・住まい・生活支援」が一体的に提供されるシステム

国では高齢者を対象としていますが、**川崎市では全世代を対象に取組を進めています！**

基本理念

基本理念の達成に向け

川崎らしい**都市型**の地域包括ケアシステムの構築による**誰もが**住み慣れた地域や自らが望む場で**安心して暮らし続ける**ことができる地域の実現

5つの視点

住まい

住まいの確保・住まい方の実現
住宅や施設を含む様々な**住まいの確保**や、ライフスタイルに合った**地域コミュニティ**を構築する。

予防

共生、セルフケアへの意識づくり
地域で共に生きる**共生社会**への意識や、自身の**健康づくり・介護予防**等への意識を醸成する。

生活支援

多様な主体の連携によるケア
地域、団体・企業等の多様な主体との連携により、**つながりづくり**など、日常生活に必要な**資源**を充実させる。

医療・介護

専門多職種連携によるケア
相談支援、在宅療養や本人の意思決定支援など**専門多職種の連携**により地域で暮らし続けることを支える。

マネジメント

地域マネジメント
身近な地域ごとに必要な「医療・介護・予防・住まい・生活支援」の**資源**充実に向けた**マネジメント**を行う。



三郷町リサーチコンサルティング「＜地域包括ケア研究会＞地域包括ケアシステムと地域マネジメント」(地域包括ケアシステム構築に向けた制度及びサービスのあり方に関する研究事業)、平成27年度厚生労働省老人保健健康増進等事業、2016年

具体的な取組例

健康づくり

健康ウォーキング



市民の自発的な健康づくりの習慣化を促進する

つながりづくり

一人暮らし高齢者会食会



身近な地域における見守り・支え合いの取組を進める

地域子育て支援センターの様子



地域全体で子育てを応援する環境づくりを進める

専門多職種の連携

医療介護連携



医療や介護の専門職が連携して地域の生活を支える仕組みをつくる

保健・医療・福祉分野だけでなく、まちづくり、教育、経済分野などあらゆる分野が連携したシステムづくりを進めています。